

豊橋市

おぎき まさてる
尾崎 雅輝 議員



【一般質問】 東三河広域連合の
ビジョンについて

Q 新広域連合長の目指す
東三河広域連合の姿について伺う。

A 設立趣旨である誰もが真の豊かさを実感できる地域の実現を常に念頭に置き、8市町村と十分に連携しながら、共同処理によるスケールメリットの発揮や地域の魅力を生かした新たな価値の創出に取り組み、東三河の将来にわたる持続的な発展に貢献していきたいと考えている。東三河は、全国と同様、人口減少・高齢化が進行する厳しい状況にあるが、この現実を目をそらすことなく、これまで培ってきた広域連携の絆を礎(いしずえ)に、目指す地域の実現に向けて更に歩みを進めていきたいと考えている。

東栄町

おかだ こうじ
岡田 浩二 議員



【一般質問】 東三河における捕獲
したシカやイノシシなどの
廃棄処分に関する現状と課題について

Q 8市町村が連携共同して有害鳥獣専用焼却施設の設置などに取り組む考えはないか伺う。

A 専用焼却施設の設置については、東三河は面積が広く、捕獲場所から焼却施設までの運搬に要する距離や時間のほか、施設に係る費用など新たな負担が発生しうることから、各市町村において適切に処理することが基本になるものと考えている。しかしながら有害鳥獣被害は広域に及ぶ課題でもあることから、連携して取り組むことのできる対策などについて、今後8市町村と勉強したいと考えている。

新城市

しばた けんじろう
柴田 賢治郎 議員



【一般質問】 東三河の
森林資源の活用について

Q 木質バイオマス発電事業に
おける民間との連携について伺う。

A 地域の未利用木材を用いた木質バイオマス発電事業の多くは、ノウハウの蓄積がある民間の事業として進められており、地元の自治体や組合等も燃料の確保等の協力をしている。こうした地域の官民連携が上手く機能すれば、林業の振興、エネルギーの地産地消といった事業の外部効果が目に見えるようになり、地域の活性化につながると考えている。

東三河広域連合議会 議会報告

2月定例会

東三河広域連合議会2月定例会が令和7年2月5日・6日に開かれました。令和7年度予算案や条例案などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。審議された議案は次のとおりです。

【予算】

- 令和7年度東三河広域連合一般会計予算
- 令和7年度東三河広域連合介護保険特別会計予算
- 令和6年度東三河広域連合一般会計補正予算(第1号)
- 令和6年度東三河広域連合介護保険特別会計補正予算(第1号)

【条例等】

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 東三河広域連合第3期広域計画について
- 公平委員会委員の選任について

5月臨時会

東三河広域連合議会臨時会が令和7年5月30日に開かれました。議長・副議長の選挙のほか、条例案等が審議され原案どおり可決されました。

【条例案等】

○東三河広域連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

○東三河広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

○監査委員の選任について

◆議長・副議長

指名推選により、議長には坂柳泰光議員（豊橋市）、副議長には鈴木達雄議員（新城市）が当選されました。

◆監査委員

監査委員として鈴木教仁氏（識見を有する者）、早川喬俊議員（議員のうちから選任される者：豊川市）を選任することについて議会で同意されました。

◆議会構成

広域連合議員の変更等に伴い、議会の委員構成が変更され、次のとおりとなりました。

《みらい広域委員会》（13人）

委員長 内藤喜久枝（田原市）	副委員長 千賀 充能（蒲郡市）
伊藤真千子（東栄町）	菅谷 竜（豊橋市）
清川 長次（豊根村）	梅田 早苗（豊橋市）
柴田賢治郎（新城市）	尾崎 雅輝（豊橋市）
鈴木 達雄（新城市）	佐々木和美（豊川市）
村上 誠（田原市）	早川 喬俊（豊川市）
山口 伸彦（設楽町）	

《福祉委員会》（13人）

委員長 大須賀 林（蒲郡市）	副委員長 久保 大司（豊橋市）
岡田 浩二（東栄町）	木本 朗善（豊川市）
村松 英文（豊根村）	斎藤 啓（豊橋市）
齊藤 竜也（新城市）	向坂 秀之（豊橋市）
内藤 浩（田原市）	坂柳 泰光（豊橋市）
加藤 弘文（設楽町）	日恵野佳代（蒲郡市）
加藤 典子（豊川市）	

《議会運営委員会》（9人）

委員長 向坂 秀之（豊橋市）	副委員長 木本 朗善（豊川市）
村松 英文（豊根村）	尾崎 雅輝（豊橋市）
齊藤 竜也（新城市）	佐々木和美（豊川市）
内藤喜久枝（田原市）	日恵野佳代（蒲郡市）
梅田 早苗（豊橋市）	

豊橋市

鈴木 みさ子 議員



【一般質問】介護保険認定調査について

Q 重篤な状態にある介護認定申請者の申請状況と対応について伺う。

A

ガン末期患者の方で至急対応が必要な方からの申請については、令和6年4月から12月末までの間に600件あった。ガン末期患者の方など、特に迅速な対応が必要と判断される方からの申請を受けた場合には、可能な限り迅速に認定調査を行い、審査の順序を最優先にするなど対応を行っている。

豊橋市

梅田 早苗 議員



【一般質問】要介護認定事務の現状と考え方について

Q 要介護認定に要する期間の現状について伺う。

A

申請から調査結果が出るまでの日数については、令和6年12月末時点で平均46.9日である。申請件数が前年度より20%程度増加していることから、前年度と比較すると平均で3日遅れている状況である。認定までに要する期間が長くなることにより、ケアマネジャーの負担が増えることも考えられるため、事務受託法人への委託件数を増やしたり、調査員を増員したほか、主治医意見書の速やかな取得や審査会の開催回数を増やすことなどにより、期間短縮に努めている。

設楽町

原田 直幸 議員



【一般質問】山村都市交流拠点施設整備事業について

Q 施設建設までの土地利用について伺う。

A

設楽ダム工事事務所が現在行っている整備予定地への土砂搬入は、令和8年度中に終了し整地されるものと聞いている。その後は、引き続き設楽ダム工事事務所がダム本体工事に伴う資材等の置き場として使用したいとのことで、広域連合としても協力したいと考えている。それ以外の空いた土地で施設建設が始まるまでの間、スポット的にイベント等を開催することは可能であろうことから、設楽町ははじめ地元の意向を伺いながら、有効な活用策を考えていく。